

キャラクター名
 榎原 巴 (ハイバラ トモエ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	教師
	ウロボロス					
オプション	年齢		33 (外見23)	性別	男	
覚醒	素体	衝動	闘争	初期侵食率	36 %	
出自	謎の出生	経験	謎	邂逅	因縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	1	0	0			1	行動値	20
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	20
精神	5	1	0	3		9	戦闘移動	25
社会	1	0	0			1	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	5		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品	
コネ: 鈴木和美	
↑ストーン	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
屍人	P	N		
拾ってきたネコたち (WH)	P 有為	N 脅威		
都築京香 (OR)	P 執着	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
黄: 攻撃誘導	4	3+1	セット	視界	単体	自動	-	
効果:	ラウンド間判定ダイス-[LV*2]							
コンセ: ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-[LV](下限7)							
虚構のナイフ	3	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	攻撃力+[LV*3]							
飢えし影	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力+[LV+2]							
貪る顎門	1	3	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果:	命中時放心付与、[LV]回/シーン							
巨人の影	★	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	HPダメージ付与後取得エフェクトのLV+2、1回/シーン							
レネゲイドイーター	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	G値+[LV+1]D10							
灰色の脳細胞	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	【行動値】+9【精神】							
完全演技	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	個人の人格を模倣し他者になりすます							
禁じられし業	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	イージーエフェクトを打ち消す、[LV]回/シナリオ							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

文字通りなんでも出来る日本支部所属のエージェント。本職はレネゲイド研究者なのだが、UGN日本支部、主に霧谷雄吾のなんでも屋と化しているために、その姿を見たものはいない。ただし行動原理の端々から研究者らしいところが見え隠れしており、自分自身のことには無頓着過ぎるところは実に研究者らしいと言えるだろう。同じく謎の多い鈴木和美とはウマが合うようで、互いに頼れる情報屋として協力している。

ゼノス共通のプランである『ウロボロスシンドロームの消滅』による行動で都築京香の手で一度死んだ存在。それを期に『屍人』と呼ばれる分類となる。彼女らのプランの上で消滅しなかったウロボロスシンドロームの所持者として、他のウロボロスシンドロームの能力者を守る義務があると感じている。また、レネゲイドの研究をすればするほど自身が人間ではない可能性を否定できないと思わざるを得なくなり、「自身を人間と思いつつレネゲイドビーイング」なのではないかという感情を抱くようになった。

持っていないものを探すが困難とも言える程に資格を所持しており、それに伴う大量の知識も有している。そのため今回もいつものように潜入任務として派遣されたわけなのだが、本人として子供は嫌いじゃないので、(どうでも)いいかと思っただけ。ちなみに専門分野は自然人類学(レネゲイド研究の過程で得た知識の一角)であるが、高校教師という立場上、地学を教えている。選択科目になる教科のため受け持つ生徒の数は多くないが、童顔などところも含めフレンドリーな教師として生徒たちには好かれている様子。また植物の育成も嫌いではないため、他の部活の顧問に充てられる前に園芸部の臨時顧問を買って出るなど、彼なりに上手く、かつ好きにやっている。

極度の気分屋であり、自身の能力を全力で使えば事が大きくなる前に収められる場合であっても、他者の能力の全力を見たいと言う理由で見逃すことがある。その気分屋が文句を言いつつも霧谷雄吾の依頼を断り切らずに受けるのは、彼が与える任務は何かんだ自分以外の人間でも解決出来る人員を配置していることであったり、何かしら面白いことが起こる事を知っているからである。逆に彼が絡まない依頼を受けることはほばない。

その他困った癖として、犬猫をはじめとする動物をどこかからか拾ってくるため、勝手に拾ってきてはよく他人に迷惑をかけている。また、人の顔と名前を覚えるのが異様なまでに遅い。学校では名札があるのでそれで誤魔化しているが、名札がないような場所や見る余裕がない場面では他者を名